

財政課長の仕事宣言！ 進行管理表

財政課長 姉川勝之

①重点施策項目名	適正な財政運営を行います
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度実質公債費比率（11.5%）を平成32年度（5年後）まで現状維持する。 財政情報の公表 （財政公表、当初予算概要、決算統計、決算分析、財政健全化指標、バランスシート）
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 新規・既存事業とも費用対効果や必要性の検証などを十分に確認することに加え、地方債の適正管理を行いつつ財政の健全化、効率化を図ることで、持続可能な財政運営に努めます。 税金の使途やその成果など、財政状況について市民に分かりやすく説明することで財政の透明性の向上に努めます。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度実質公債費比率は10.2%となり、前年度を1.3%下回った。主な要因としては一般会計の起債残高が平成26年度末（約195億）に対して、平成27年度末（約187億）が約8億円減少したためである。 財政情報の公表に関しては、当初予算の概要については、4月にテレビ広報とすで市長から説明いただくとともに、市報5月号に掲載しました。 財政公表（下半期分）に関しては、5月に告示するとともに、市報8月号に掲載しました。 決算統計に関しては、決算カードを9月に市HPに掲載しました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 財政公表（上半期）に関しては、11月に告示し、市報12月号に掲載しました。 財政健全化指標は、平成27年度決算状況と合わせて市報12月号に掲載しました。
⑥数値目標の結果	財政健全化指標についても問題ない状況であり、地方債の管理・運営も実質公債費比率は前年度を下回っており、一定の成果をあげています。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	<p>今後複数の大規模事業が実施されていく中で、事業に係る財源対策とその必要性、緊急性、効果を考慮した上で、持続可能な財政運営に引き続き努めていく必要があります。</p> <p>基金・市債の適正管理に努めるとともに、予算編成等の機会を通じて、事業検討の際は、事業効果の検証はもとより、歳入確保も念頭においた検討を今後も一層行うよう意識の醸成を図っていく必要があります。</p>

◇所管部長の指示

上半期

健全で持続可能な財政運営を図れるよう事業と財源の調整を図ること。

下半期

今後も事業と財源の調整を図りながら、計画的な財政運営を行っていくこと。